



小田ゆきのぶが考える！ 福津はもっと良くなる。

PRESS 2025年1月号

自治体職員32年間の経験と自治体経営の学びを活かし、
福津市の将来像をしっかりと見据えたまちづくりを進める！



ご存知
ですか？

緊急事態！福津市が今、大変な事に！



市が税金等を積み立ててきた
基金(貯蓄)の運用に失敗！

**30年満期(一部40年)の債券を
総額約74億円で購入し、約23億円
(令和6年9月時点)の損失が発生！**



多くの問題を抱える宮司地区新設
小学校建設(現在造成工事中)に関する

**事業費が当初の予定64億円から
約79億円に増額となり、浸水対策工法を
採用した場合90億円を超える可能性も！**



**このままでは、足元行政や高齢者支援、教育環境の格差解消
などの行政サービスが大幅に低下する事態に！**

解説 1 基金運用大損失の問題

令和6年12月の市議会で、以下のことが明らかとなりました。市は令和元年度から令和2年度にかけて、基金のうち約74億円を使い、22件の国債(30年満期が21件、40年満期が1件)を購入し、利息収入を得ていました。しかし、その後、金利上昇に伴い債券の価格が大きく下がり、令和6年9月時点で、帳簿価格は約72.8億円だったのに対し、現在の評価額は約49.6億円と、約23.2億円の含み損が発生しています。この事案の問題点としては「①基金全体の中で債券購入に充てた割合が大きすぎる②債券購入後の価格変動の監視や売却のタイミングを逃した③30年満期という長期的な運用のリスク④このことが公表されていなかったこと」などが上げられます。

この損失により、向こう25年間債券を現金化することが困難となり、現金化した場合は大幅に資産が減るため、長期にわたって行政サービスに多大な影響が出ることとなります。一般会計予算規模300億円程度の福津市においては非常に重大な事案です。

解説 2 宮司地区新設小学校の問題

市が進めている宮司地区の新設小学校建設は、河川に囲まれた低地に位置し、雨水対策や洪水のリスクが指摘されています。また、事業費が膨大化しており、上記の基金損失問題や、市全体の校区再編の困難性もあり、当該小学校建設問題も含め、全体計画の再検討が必要であると考えられます。さらには、この状況下の中、市長が選任すべき、市の教育行政を統括し職員を指揮監督する「教育長」が1年9か月(令和6年12月末時点)にわたり不在の状況であることも大きな問題です。

解説 3 今後の行政サービス低下の問題

市財政の財布はひとつです。お金が回らなければ、全ての行政サービスは滞ります。現状の基金損失問題を抱える中で、多大な費用が必要となる新設小学校建設は、市民全体へ大きな影響を与えることは必然です。一方で子どもたちの教育環境の確保や高齢者が安心して暮らせる支援も欠かせません。今後の市の方針と対応が非常に重要となります。

これらの課題は、**私たちの税金の使い道や、市民サービス、子どもたちの教育環境に直接関係する重大な問題です。一人ひとりが市政の動向を注視し関心を持つことで、福津市はもっと良くなります。**

今、福津市政に必要な2つのこと 福津市がより住みやすく、魅力的なまちになるためには、

安定 と チャレンジ の両方が必要です。

1 安定を支える取り組み

市政に「安定」をもたらすために

安定を
基盤に

行政情報の積極的な開示

市民が正しい情報を共有できるよう、「市民の知る権利」を守り、議論の土台を整備

市民が行政を監視できる体制の強化

市全体のガバナンス(監視・統制)の構築

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 1 行政の内部統制 2 会計監査 3 議会によるチェック | <p>この3つの連携によって、市民にとって安心できる市政運営が可能となります。</p> |
|--|---|

市の経営意識の強化

「市の経営」という概念を重視し、経営資源の効率的活用と財務管理を徹底

2 挑戦する未来のまちづくり

福津市の価値を高めるためのチャレンジ(挑戦)を

子どもたちをしっかりと育てる教育環境の整備

地域拠点整備と団地再生

海や歴史資産、食材を活かし「西の鎌倉・湘南」に

具体的な2つのチャレンジを提案!

——民間活力導入によるまちづくり——

- 1 大学など高等教育機関の誘致
学術や専門家とまちづくりや市民活動で連携するため、トップセールスを行って誘致
- 2 JR福間駅～津屋崎千軒までの鉄道開業
通勤・通学、高齢者の移動、観光、渋滞緩和、環境負荷軽減などのため、まずは市民や関係者、職員等が一体となり研究会を立ち上げ



主催 政治団体

新たな福津市をつくる会 まちづくりシンポジウム開催!

YouTube
ライブ配信
あり
(予定)

開催日時 2025年1月26日(日)10時～ 場所 福津市中央公民館



元 福津市まちづくり推進室長 小田 ゆきのぶ

●1963年(昭和38年)1月生まれ●福津市出身●佐賀大学工学部卒●関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科修了●MBA(経営管理修士)●関西学院大学価値共創研究センター客員研究員

1988年………福間町役場入庁～福津市役所に移行
主な職務経験:行政経営、行財政改革、都市計画、産業振興、まちづくり全般
2020年………退職
2021年………福津市長選挙に立候補、落選
2022～2024年…関西学院大学専門職大学院修学



瀬戸内市長 武久 顕也

●1968年(昭和43年)11月生まれ●瀬戸内市出身●筑波大学農林学類卒●バーミンガム大学公共政策大学院修士課程修了

1996年………旧邑久町議会議員で初当選
2001年………旧邑久町長選挙に立候補し、僅差で落選
2003年～2009年…監査法人トーマツシニアマネジャー
2009年～………瀬戸内市長選挙で初当選
現在4期目

いしはら としひこ
司会 石原 俊彦教授
関西学院大学



プロフィール/総務省地方行政検討会議構成員など、政府と地方自治体の公職を多数歴任。公認会計士の資格を持ち2011年から日本公認会計士協会本部理事を1期務める。英国の公共部門に幅広いネットワークを持ち、2007年から5年間英国バーミンガム大学客員教授。地方自治体と大学を中心とした公共部門のマネジメントとガバナンスを研究対象とする。専門分野は会計学、監査論、公会計論、公共経営論など。

